

蔵王山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
火山監視・情報センター

蔵王山では、4 月 7 日以降御釜付近が震源とみられる火山性地震が増加しています。火山活動は活発となっており、今後、小規模な噴火が発生する可能性があります。

平成 27 年 4 月 13 日 13 時 30 分に火口周辺警報を発表し、噴火予報（平常）から火口周辺警報（火口周辺危険）に上げました。

【防災上の警戒事項等】

想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2km の範囲では噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

地元自治体等の指示に従って危険な地域には立ち入らないでください。

また、風下側では火山灰や小さな噴石が遠方まで風に流されて降るおそれがあるため注意してください。

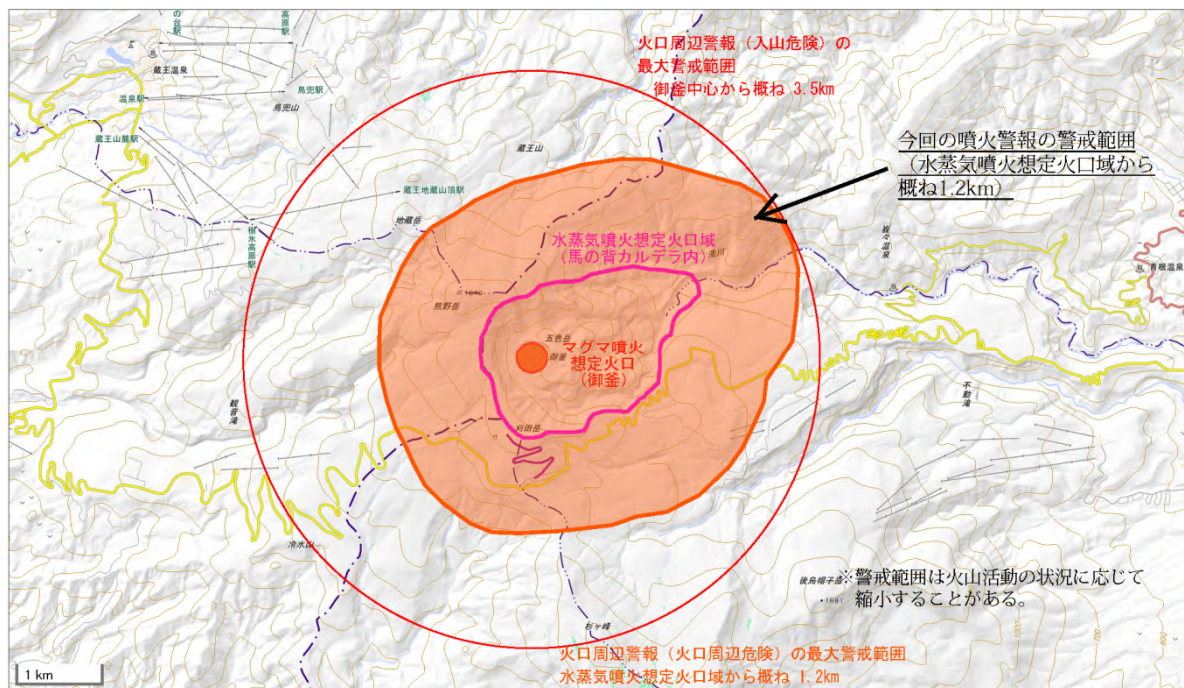


図1 蔵王山 小規模な噴火について警戒が必要な範囲

橙領域内：想定火口域（馬の背カルデラ）から概ね 1.2km の範囲

※地図は国土地理院 地理院地図 <http://www.gsi.go.jp/> による

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図2、図3）

蔵王山では4月7日以降、御釜付近が震源と推定される規模の小さな火山性地震が増加し、本日（13日）も多い状態が継続しています。今月（4月）の地震回数が182回（13日14時まで）と多い状態となっており、2010年9月の観測開始以降、最多の月別の地震回数となっています。

火山性微動は4月10日以降観測されていません。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>) や、気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）。

・地殻変動の状況（図 7、図 9、図 10）

坊平観測点に設置している傾斜計¹⁾ 及び GNSS²⁾ 連続観測による地殻変動観測では、地震の増加に伴う特段の変化はみられません。

・噴気など表面現象の状況（図 4～6）

13 日に山形県警察本部が撮影した上空からの映像の解析では、御釜周辺に異常は認められませんでした。

遠刈田温泉（山頂の東約 13km）及び上山金谷（山頂の西約 13km）に設置してある遠望カメラでは、噴気は認められていません。

気象台では、現地の状況の確認を含め、火山活動を注意深く監視しています。

今後、気象台が発表する情報に留意してください。

- 1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。
- 2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

(回) 時別地震回数

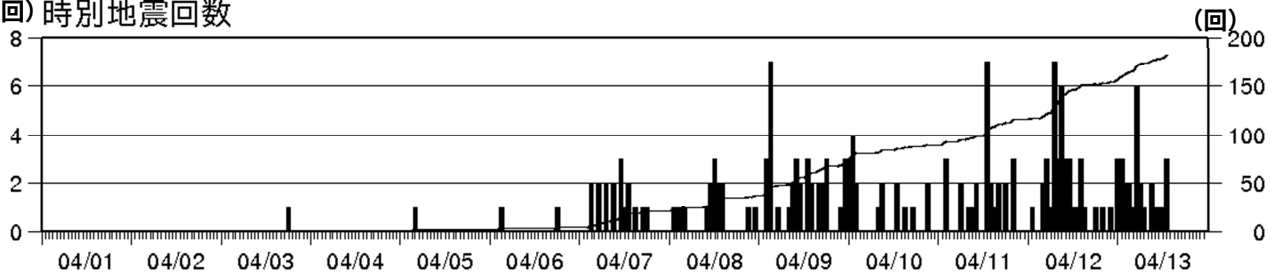


図2 蔵王山 時別地震回数 (2015 年 4 月 1 日～2015 年 4 月 13 日 14 時)

・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

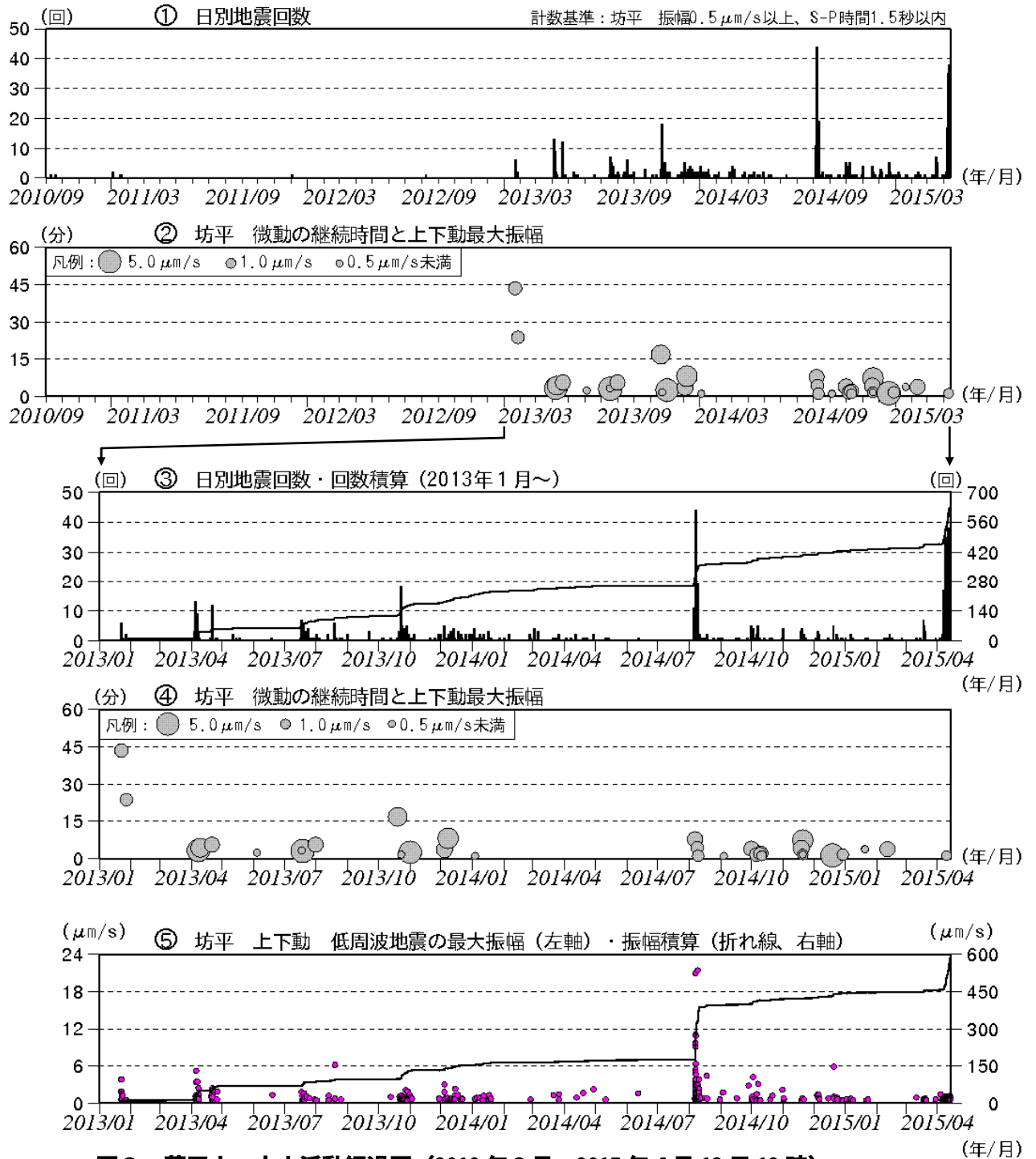


図3 蔵王山 火山活動経過図 (2010 年 9 月～2015 年 4 月 13 日 12 時)

- ・2010 年 9 月 1 日から観測を開始しました。
- ・回数は速報値で精査後修正される可能性があります。

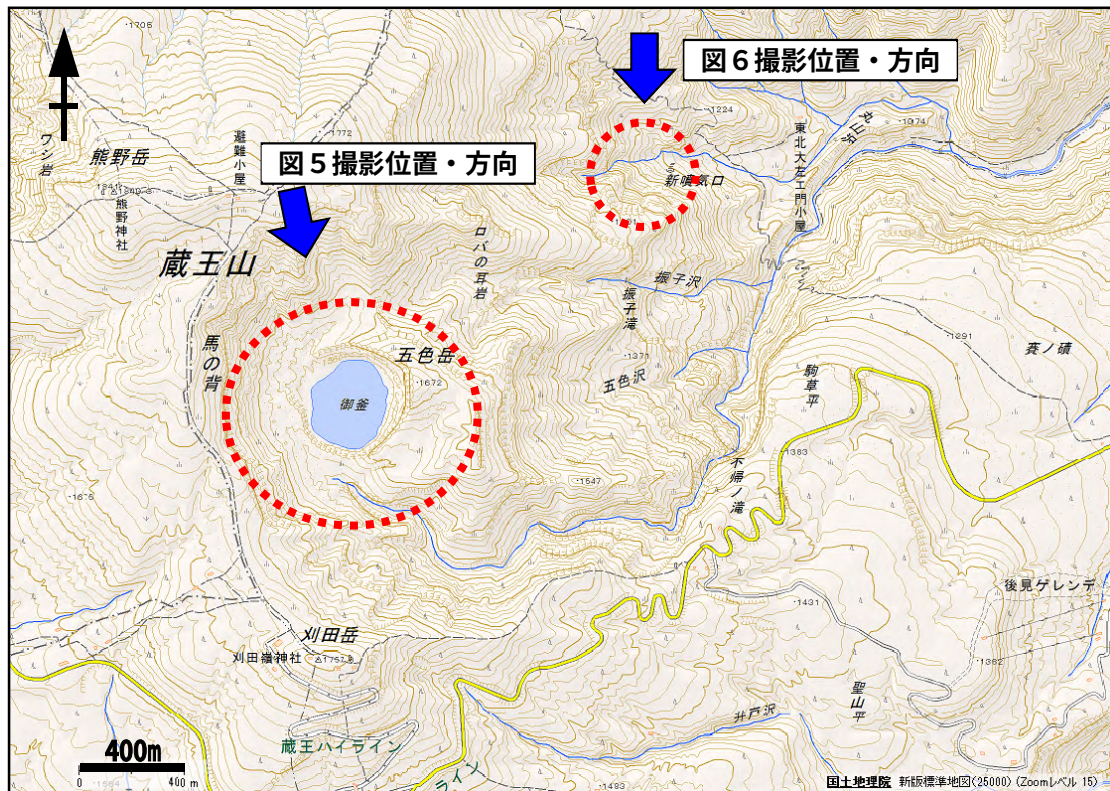


図 4 蔵王山 上空からの写真撮影位置・方向と範囲

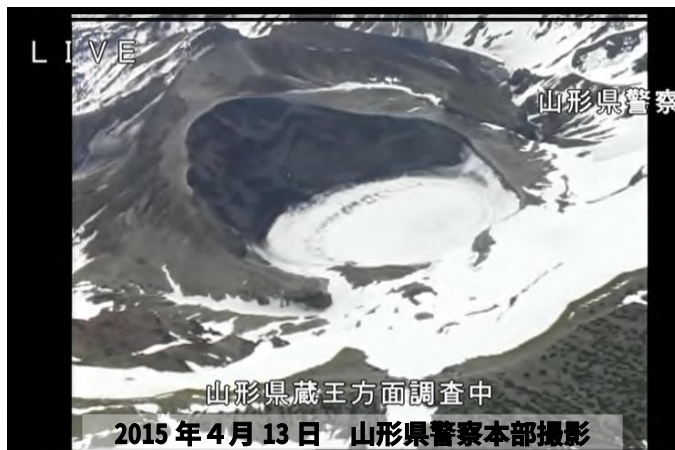


図 5 蔵王山 御釜の状況

- ・御釜は凍結しており、その周辺にも噴気は認められません。

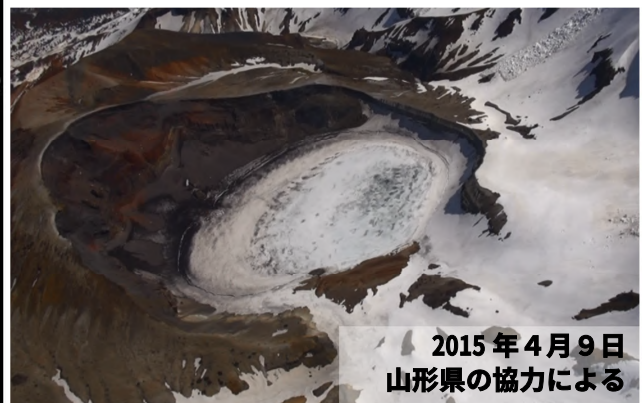
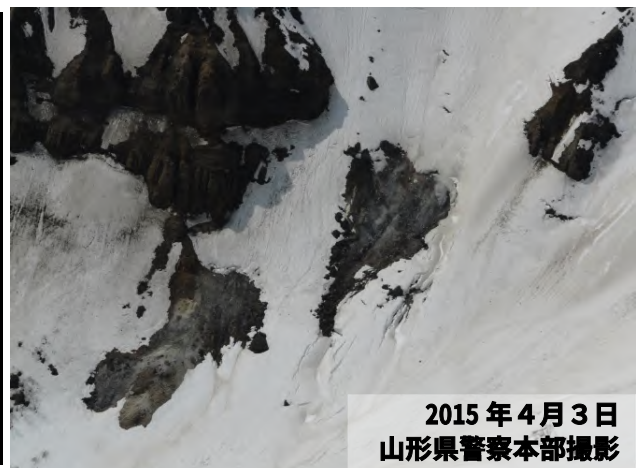


図 6 蔵王山 丸山沢噴気地熱地帯の状況

- ・噴気や融雪域に特段の変化は認められません。
- ・青線内が丸山沢噴気地熱地帯を示します。



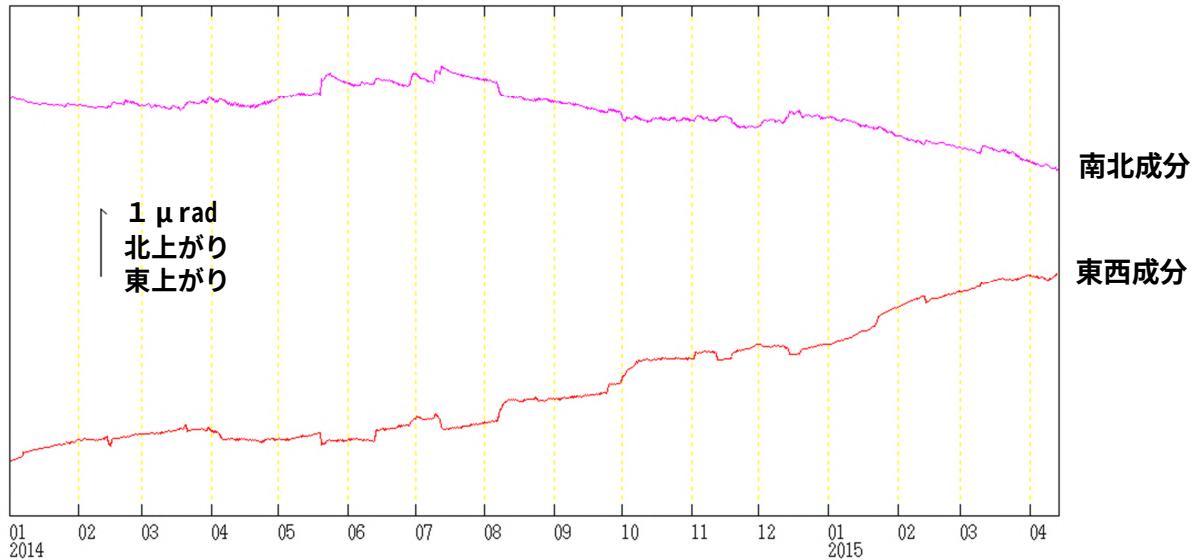


図7 蔵王山 坊平観測点での傾斜変動 (2014 年 1 月 1 日～2015 年 4 月 13 日 12 時)

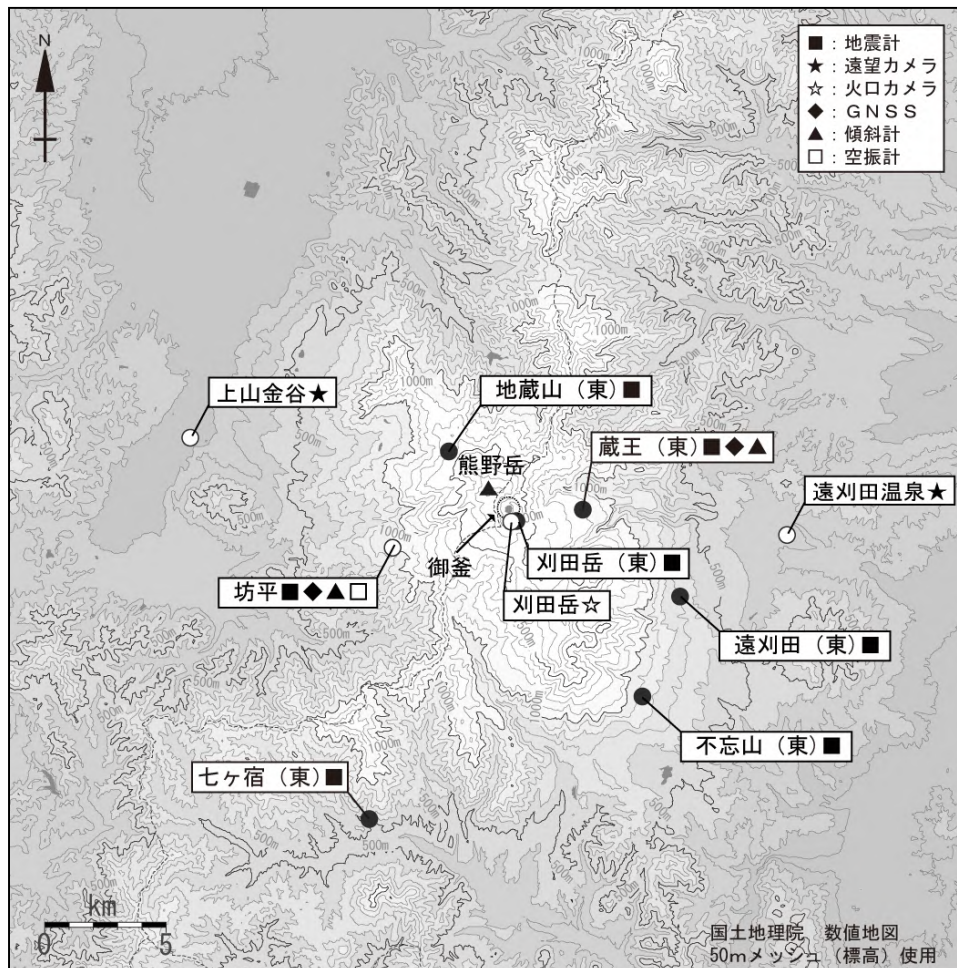


図8 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

刈田岳火口カメラは、冬期間観測を停止しています。

(東) : 東北大学

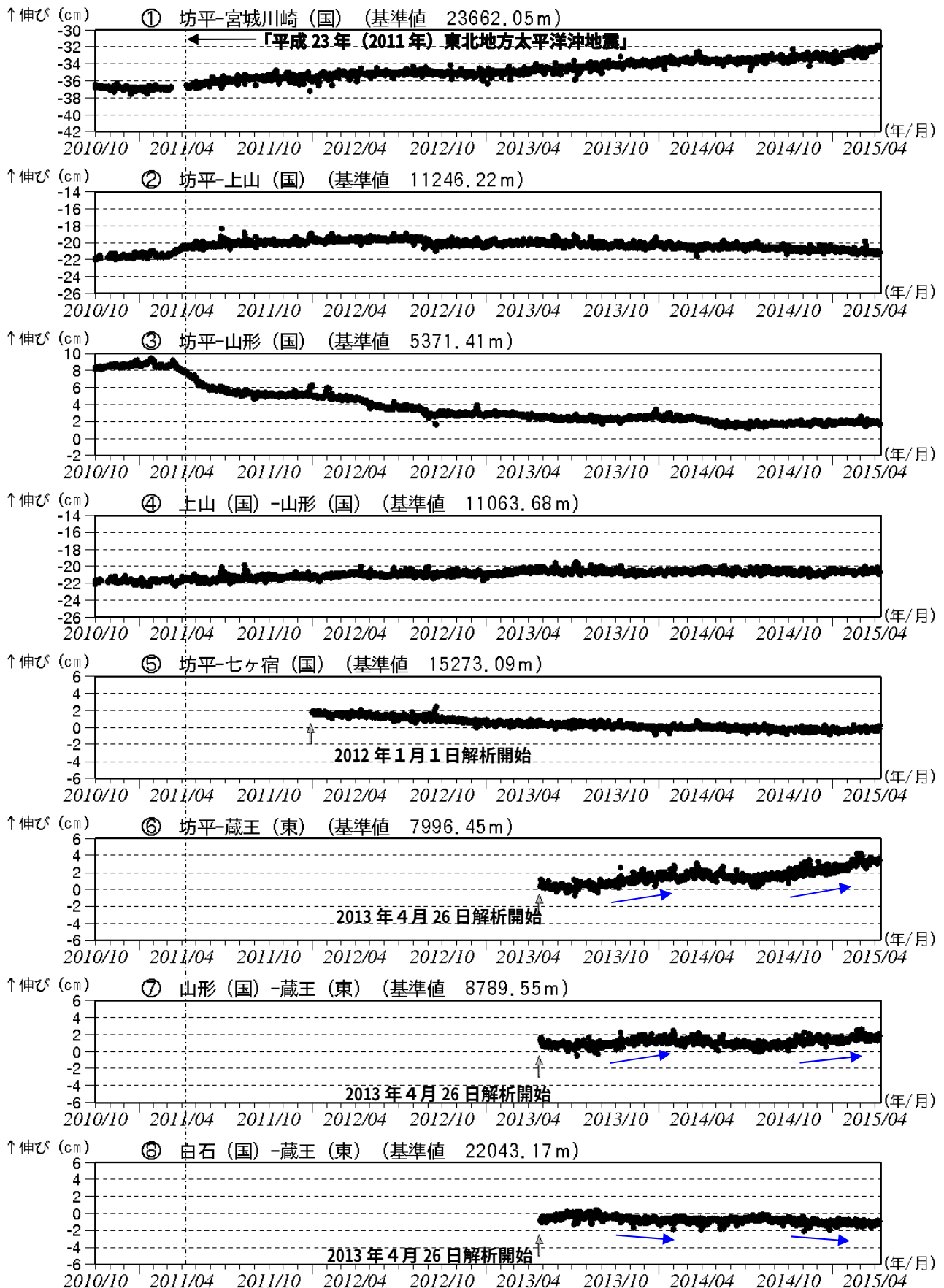


図 9-① 蔵王山 GNSS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2015 年 4 月 13 日)

- ・ 2011 年 3 月 11 日以降の変動は、「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・ ①～⑧は図 10 の GNSS 基線①～⑧に対応しています。・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
 - ・ →は基線長の変化傾向を示します。⑥、⑦、⑧の変化は季節的なものと考えられます。
- (国) : 国土地理院 (東) : 東北大学

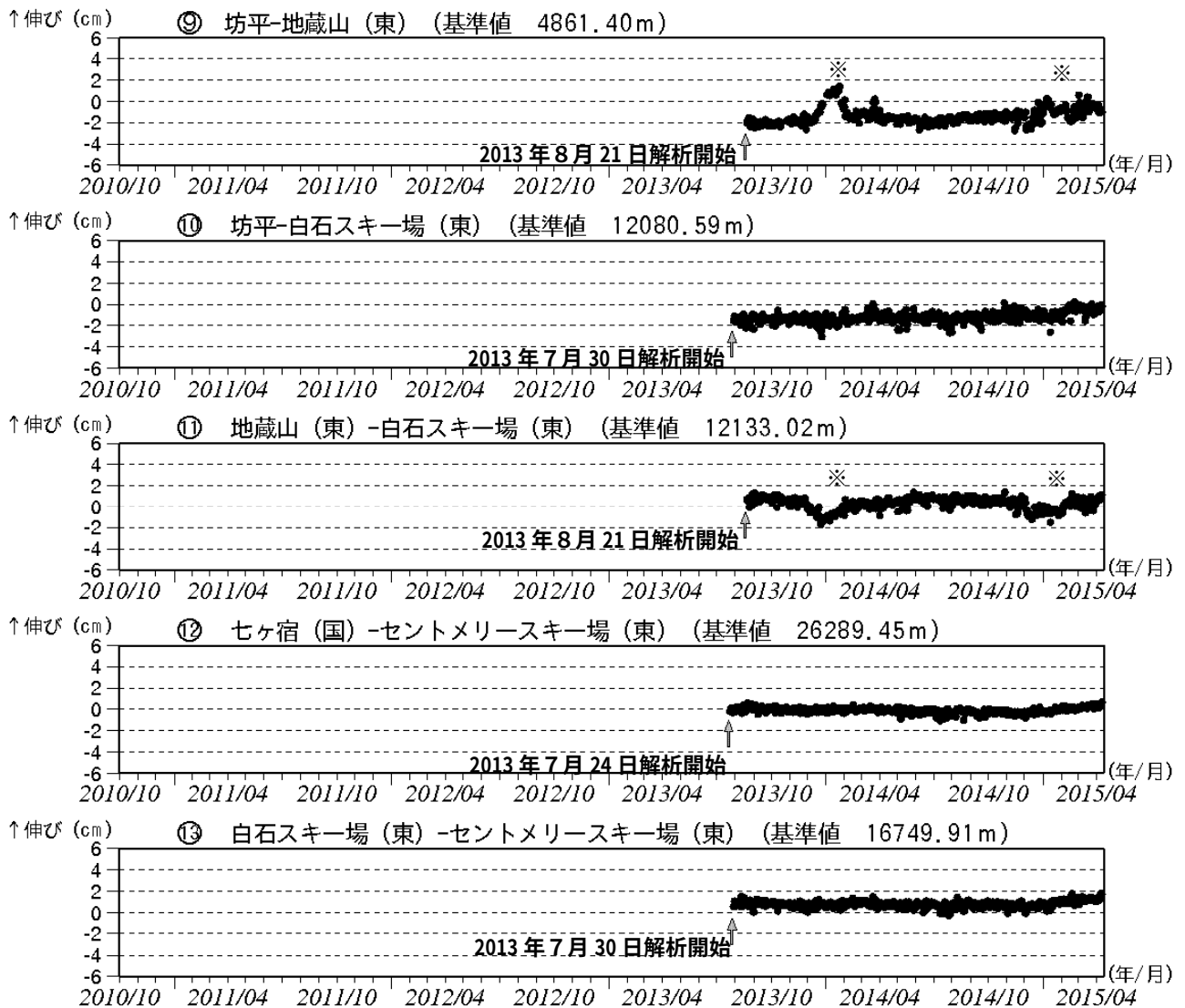


図9-② 蔵王山 GNSS 基線長変化図 (2010年10月～2015年4月13日)

- ・2011年3月11日以降の変動は、「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」による影響であり、火山活動によるものではないと考えられます。
 - ・「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
 - ・⑨～⑬は図10のGNSS基線⑨～⑬に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ※地藏山(東)では、着雪による変化がみられます。
(国)：国土地理院 (東)：東北大学

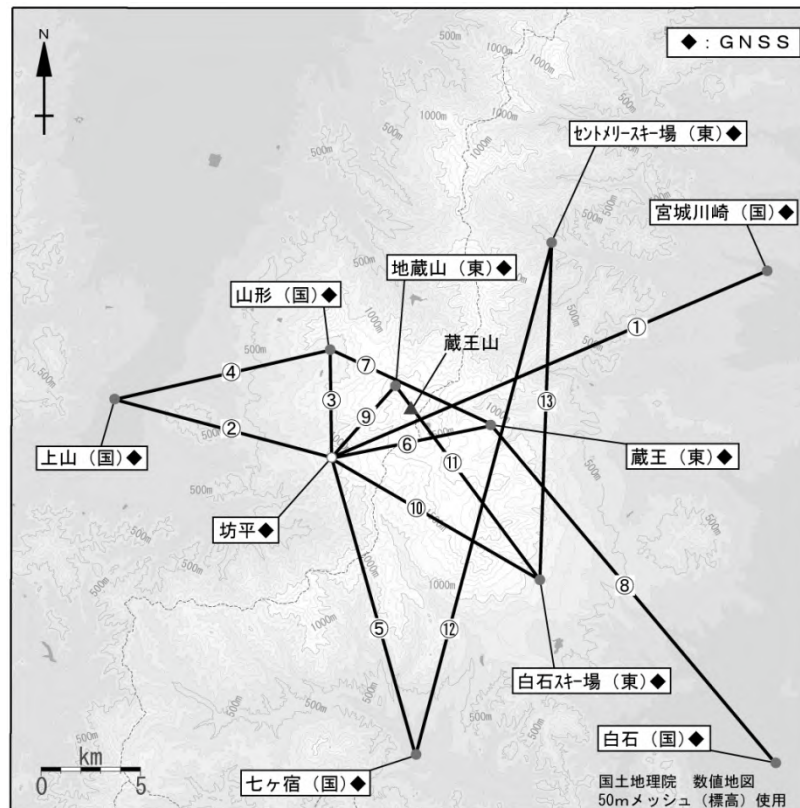


図 10 蔵王山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院 (東)：東北大学